

平成29年度 事業報告

社会福祉法人 岡谷市社会福祉協議会

I 岡谷市社会福祉協議会事業推進組織・役職員体制

(1) 役員

理事会	事業推進執行機関	会長1名・副会長3名・常務理事1名・理事11名
監事	事業・会計監査	学識経験者1名・税理士1名
評議員会	議決機関	地域・各種団体代表等34名

役員改選期にあたり、6月16日より新体制となる。

(2) 職員

事務局長兼常務理事	1名	居宅介護支援事業所長・訪問介護事業所長
事務局	10名	正規6名・嘱託4名
居宅介護支援事業所	7名	ケアマネージャー(正規3名・嘱託4名)
訪問介護事業所	22名	ホームヘルパー(正規4名・嘱託1名・パート17名)
おかや総合福祉センター	9名	館長(嘱託1名)・事務員兼業務員(嘱託4名・臨時4名)
ひだまりの家	7名	所長(嘱託1名)・指導員(正規1名・嘱託1名・臨時4名)
生きがいづくりデイサービス	3名	援助員(臨時3名)
結婚相談所	2名	結婚相談員(臨時2名)
日常生活自立支援事業	12名	生活支援員(臨時13名)
合計	73名	

II 主たる事業・会議等の開催

月	日	説明	月	日	説明	
4月	20日	定例正副会長会(月1回)	7月	8日	社協会費収納開始(7/1~8/30)	
	21日	ブロック社協局長・次長会議		8日	ハートリーフ	
5月	8日	手話奉仕員養成講座(全41回)		21日	正副会長会	
	11日	地区社協役員研修会 育児ファミリーサポートセンター 提供会員研修会(全6回)		24日	サマーチャレんじ2017(~8/31)	
	15日	監査会		25日	岡谷市障害者福祉推進実行委員会総会 共同募金運営委員会	
	18日	正副会長会		26日	生きがいデイサービス ボランティアリーダー養成研修(全6回)	
	27日	こども福祉教室開講式(全9回)		28日	ブロック社協局長・次長会議	
	29日	社会福祉推進校連絡会議		29日	パラアイスホッケー講演会	
	30日	理事会		8月	5日	岡谷市社会福祉大会(カノラホール)
	6月	9日			ブロック社協総会	6日・12日
15日		評議員会 評議員選任・解任委員会	14日		ふれあいおどり連	
16日		理事会	22日	正副会長会		
20日		会費収納説明会 共同募金審査委員会	9月	13日	長野県社会福祉大会(佐久市)	
21日		おかや総合福祉センター防災訓練		19日	共同募金説明会	
22日		正副会長会		21日	正副会長会	
		22日		パラアイスホッケー国旗寄贈		
		23日		ふれあいの集い(ぶどう狩り)		
			29日	理事会		

10月	4日	共同募金運動開始(10/1~12/31)	1月	7日	パラアイスホッケー寄せ書きイベント
	7日	朗読講座(全5回)		17日	正副会長会
11月	16日	ふれあい祭り&ボランティア祭り	2月	21日	成年後見制度に関する学習会
	19日	正副会長会		22日	パラアイスホッケー応援イベント
	28日	家庭介護者の集い			理事会
	10日	福祉バザー		2日	「こどもの居場所」「こども食堂」学習会
	10日	パラアイスホッケー祝勝会		15日	地域サポートセンター学習会
12月	14日	正副会長会	3月	19日	正副会長会
	15日	おかや総合福祉センター防災訓練		20日	岩手県山田町との災害協定締結
	21・22日	富山県射水市七美社協視察研修		23日	パラアイスホッケー応援の品贈呈式
	25日	ハートリーフ			ブロック社協局長・次長会議
	26日	ブロックボランティア交流研究集会		8日	共同募金審査会
	6日	障がいに関する学習会		10日	パラアイスホッケーパブリックビューイング
9日	パラアイスホッケー撮影会	14日	正副会長会		
20日	正副会長会	20日	市議会社会委員会との懇談会		
21日	ブロック社協役員研修会	29日	理事会・評議員会		

III 事業の実施報告

第3次地域福祉活動計画に基づき事業を推進してまいりました。計画に掲げた4つの基本目標に沿って実施した事業の報告をいたします。

基本目標1 地域福祉活動の輪を広げる

(1) 福祉意識の普及

様々な事業を通じ、また各種媒体を活用し、市内全体に福祉意識を広げた。

①岡谷市社会福祉大会の開催 8月5日(土) カノラホール大ホール 約600名参加

総合テーマ	みんなで築く、みんなの福祉、みんなの未来(あした)		
内容	講演	「人生を楽しくする運動のすすめ～老いない体をつくる～」	
	講師	湯浅 景元 氏 中京大学スポーツ科学部教授	
表彰	市社協会長表彰	社会福祉事業特別功労者	9個人
		社会福祉事業協助者	1個人
		褒賞	24個人・3団体
		感謝状	1個人・7団体
	共同募金会岡谷市支会会長表彰		
		感謝状	10団体

地域福祉の担い手であり、主役である住民の皆さんが、地域で健康でいきいきと暮らし、活躍されることを願うとともに、福祉に対する意識の高揚を図った。

②長野県社会福祉大会への参加 9月13日(水) 佐久コスモホール

内容	実践報告	「福祉ネットワーク活動について～みんなで支え合う地域を目指して～」	
		佐久市志賀下宿区 区長 神津 忠治 氏	
	講演	「笑顔の地域活動～落語家が語るコミュニケーションの極意～」	
	講師	三遊亭 多歌介 氏	
表彰	県社協会長表彰	民生委員・児童委員	1名
		社会福祉協議会役員	1名
	県民児協会長表彰	民生委員・児童委員	8名

③ 社協だより「ゆめ」の発行 年12回・全戸配布 事業、活動、福祉情報、ボランティア情報等掲載

④ 地区社協だよりの発行 17地区 地域住民に地区社協活動を周知、理解協力及び福祉活動への参加促進を図った。

⑤ 新聞等報道機関の協力

⑥ 福祉教材の貸出

学校等に福祉体験用として、各教材の貸出しを行った。

高齢者疑似体験セット	神明小学校・東部中学校・下諏訪中学校・平成会・愛の家グループホーム
車いす	川岸小学校・湊小学校・東部中学校・岡谷東高校・ハンデサポートおかや
点字器	小井川小学校
アイマスク	湊小学校・東部中学校・下諏訪中学校

⑦ 各種体験学習会、福祉学習会の開催

学校、保育園等に講師として出向き、各種体験学習会を行った。

また地域のゲストティーチャーとして、視覚・聴覚障がい者や点字サークルの皆さんに協力をお願いし、指導していただいた。

車いす体験	川岸小学校・湊小学校
点字体験	岡谷田中小学校・小井川小学校・湊小学校
アイマスク体験	長地小学校

⑧ こども福祉教室の開催 9回シリーズ 参加者14名

市内の小学3年生から6年生を対象に、様々な学習、体験を通じて、小さな頃から福祉に関心をもってもらうことを目的に開催。ボランティアスタッフと共に活動内容を企画し、楽しみながらも学べるプログラムになるよう工夫した。

学校や学年を超えた交流や、普段なかなか接する機会が少ない貴重な体験を通じて、こどもたちが大きく成長した姿を見ることができた。

⑨ 社会福祉推進校事業の推進

小中高14校（全校）を社会福祉推進校に指定し、福祉教育活動への助言指導とともに、活動費の助成を行った。教育委員会との意見交換や校長会へ出席し、学校現場との協力関係の構築に努めた。

⑩ ボランティア活動体験事業 サマーチャレンジ2017

7月から8月の間に市内の各会場で、学生から社会人まで多くの方がボランティア体験をしていく中で、ボランティアへの関心をさらに深め、今後の活動へのステップとすることを目的として開催した。

実施期間	平成28年 7月24日(月)～ 8月31日(木)
参加者	中学生74名・高校生22名・大学生8名 (合計 104名)
実施施設	保育園(14) 高齢者施設等(4) 子育て支援館(1)

⑪ 親子福祉体験事業（こども福祉教室内で2回実施）

1回目は、市職員、社協職員が講師となり、高齢者のからだの変化や認知症について親子で学んだ。2回目は、岡谷市消費者の会の方を招き、廃油石けんづくりを体験した。

⑫ こどもの居場所・こども食堂

実際に運営されているこども食堂を見学し、運営のノウハウなど事例研究を進めた。こども食堂を主催されている方を講師に学習会を開催し、こどもの支援に関心のある方に参加いただき、意見交換した。

学習会	岡谷市の「こどもの居場所」や「こども食堂」について話そう ～こども食堂「ちゃんちゃんこ」に学ぶ～
日時	2月2日(金)午後6時30分
場所	諏訪湖ハイツ202研修室
内容	事例に学ぶ：講師 CAPS. すわ 代表 宮原 規夫 氏 意見交換：3グループに分かれて意見交換

(2) ボランティア活動への支援

ボランティア登録者数	総 数	4,871名
内 訳	全市のボランティアグループ	48グループ 3,271名
	企業ボランティアグループ	3グループ 487名
	地区社協ボランティアグループ	24グループ 1,051名
	個人ボランティア	36名

- ① ボランティア連絡協議会との連携強化 加入 団体20・個人20名
 ボランティア同士のつながりを更に深めることができ、ふれあい祭りや様々な活動につなげることができた。
 また、社協行事にも積極的に協力していただき、ありがたく感謝している。今後も更なる連携強化をしていきたい。

- ② ボランティアコーディネート機能の充実・強化
 各地区、市内外福祉施設へのボランティア紹介 コーディネート件数 45件
 ボランティア希望者への情報提供
 同行訪問によるボランティアの紹介、対応
 ボランティアセンター管理、整備
 利用状況：15団体・個人 361回 2,417人

- ③ ボランティア等に対し地域福祉活動振興補助事業
 ボランティアの研修や活動に助成を行い、活動を支援した。

- ④ ボランティア保険の普及、加入 加入者総数 1,778名

保険内容	加入者数
Bプラン(社協補助あり)	1,373
Aプラン(全額負担)	299
Aプラン(サマーチャレンジ参加者分)	104
天災Aプラン《災害ボランティア》(社協負担)	2

- ⑤ ボランティア及び災害活動者遺児育英資金 9,479,664円

- ⑥ 朗読講座の開催 5回シリーズ 参加者6名

- ⑦ ボランティア祭りの開催
 ふれあい祭りと同時開催。雨のため屋内での開催となったが、多くのボランティアにご協力いただき、盛大に開催することができた。年々来場者、新たに参加していただく団体も増えており、定着した行事となっている。

- ⑧ パラアイスホッケー日本代表応援企画
 岡谷市ボランティアセンターでは、岡谷市を練習拠点とするパラアイスホッケー日本代表チームを市民ボランティアの応援により支える活動を展開した。
 主な内容としては、代表チームの紹介、平昌パラリンピックの予選、本選を通じての応援イベント等の活動を行い、NPO、学校等の協力も得て、市民による応援の輪を広げる一助となった。
 今後も市民が代表チームを応援し、広くパラスポーツに対する理解を深め支える環境づくりを継続したい。

(3) 地区社協への支援

- ① 地区社会福祉協議会の充実と活動の推進
 地域に出向き、情報提供、意見交換等を行い、地区社会福祉協議会の活動を支援した。また、地区社協会長会とともに、市長との懇談会、今後の地域づくりに向けた、グループワークを行った。

- ② 地区福祉ニーズ対応事業（福祉推進員設置事業） 327名
 今井22名・間下22名・岡谷20名・下浜12名・小尾口6名・上浜18名・新屋敷12名・小口17名・小井川29名・西堀16名・小坂8名・花岡19名・三沢31名・新倉12名・駒沢5名・鮎沢5名・橋原6名・東堀30名・中屋18名・中村5名・横川14名

- ③ 地区地域福祉推進会議
 各地区社会福祉協議会で開催 44回

- ④ 地区社協会長等視察研修 平成29年11月21日・22日 富山県射水市七美社会福祉協議会
 地区社協会長等25名の参加をいただき、射水市社協の概要、七美社協におけるケアネット活動等を中心に、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりについての話を聞き、今後の地区社協活動の参考となる研修となった。

- ⑤ 地区社協役員研修会の開催 5月11日
 各地区社協役員対象に、新しい総合事業について地域福祉活動振興補助事業の説明

- ⑥ 地区社協だよりの発行（再掲）

- ⑦ 地域福祉活動振興補助事業
地区社協で行う各事業に補助を行い、地域福祉活動の振興を図った。

(4) 社会参加への支援

- ① 地区主催「敬老事業」への助成 650万円
 ② 岡谷市高齢者クラブ連合会への支援
 ③ 高齢者の社会参加促進事業
「健康・友愛・奉仕」を基本精神とした各種活動への支援。
 ④ 障がい者地域生活支援事業等（市受託事業）

ア 手話通訳者設置

窓口での相談等	24回	市関係行事での通訳	5回
---------	-----	-----------	----

イ 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

手話通訳者派遣	19件	49.75時間(講演会等)	通訳者数	12名
要約筆記者派遣	5件	15.00時間(講演会等)	通訳者数	7名

ウ 6市町村手話奉仕員養成講座 41回シリーズ

諏訪6市町村の方対象として開催。

入門課程(18回)修了者 2名 全課程修了者 17名

この講座修了者の中から、通訳者を目指す方もおり、聴覚障害者への理解に成果が見られた。

エ 手話奉仕員フォローアップ講座の開催 5回シリーズを2回 参加者20名

奉仕員養成講座修了者以上の方のレベルアップを図ることを目的に開催。県主催の通訳者養成講座へつなげている。

オ 声の広報発行事業 12回発行 9世帯利用

カ 生活訓練事業

キ 芸術・文化講座開催事業

ク スポーツ教室開催事業

ケ スポーツ大会開催等

- ⑤ 岡谷市障害者福祉推進実行委員会による障害者福祉推進
福祉バザー、ふれあいの集い、ふれあい祭り、障がいを理解するための学習会の開催、おどり連の太鼓祭り参加

(5) 福祉施設運営サービスの充実

- ① おかや総合福祉センター管理経営事業（市指定管理事業）

開館日数	温泉施設	308日	月平均	25.67日	
	生涯学習施設	347日	月平均	28.9日	
開館時間	温泉施設	10時～21時30分			
	生涯学習施設	9時～21時30分			
休館日	温泉施設	毎週水曜日			
	生涯学習施設	毎月第3水曜日			
入館者数	有料入館者	温泉施設 117,384名			
	無料入館者	大浴場	101,600名	リハビリ施設 13,418名	
		福祉家族風呂	1,046件 2,366名		
	無料入館者	生涯学習施設	7,487団体		
		大浴場	17,528名		
		生涯学習施設	1,770団体		
		足湯	58,726名		
	ロビー・ヘルストロン等	157,566名			

福祉施設としての大浴場、福祉風呂、温泉リハビリ施設の衛生管理を徹底するとともに、生涯学習施設としての研修室についても適正に管理した。また、ロビー、プレイルーム、芝庭、足湯などは、こどもから高齢者まで、誰もが集い、憩い交流することができるコミュニティスペースを目指しながら、利用促進に努めた。

7月1日からの大浴場入浴料金改定の際は、利用者数の維持、拡大とサービス向上のために、「大浴場ご利用感謝デー」を設定し、特典を設けたり、脱衣場に冷水器を設置した。年間の温泉施設利用者数は、前年比9.0%減、温泉施設収入は、21.1%増であった。(65歳以上 有料利用者数12.1%減、収入39.5%増)

また、外壁、屋根塗装、防水工事に関し、岡谷市、施工業者の協力により、無事しゅん工した。

② 地域活動支援センター「ひだまりの家」管理運営事業（市受託事業）

開所日時	週5日(月～金) 9:00～15:00
開所日数	243日
定員	10名
延べ年間通所者数	1,185名 (昨年と比べ454名増)
1日平均通所者数	4.8名 (昨年と比べ1.8名増)
年間在籍通所者実数	14名(男性1名 女性13名)
29年度新規通所者	1名(男性0名 女性1名)
29年度通所希望見学者	6名 延べ体験日数7日
行事等	ひだまり作業所と同時開催

一日あたりの利用人数も増えてきている。利用希望者も大勢いるがスペースなどの面で工夫が必要になってきている。利用者の中には、一般就労についての方1名とアルバイトを始めた方が1名がいるなど、着実に成果が上がってきている。

(6) 福祉活動の基盤整備

① 地域サポートセンター設置促進体制整備事業

ア 設置状況

西堀区	西堀区地域サポートセンター	平成14年度
東堀区	東堀区地域福祉支援センター	平成15年度
駒沢区	駒沢区地域福祉支援センター	平成16年度
小井川区	小井川区地域サポートセンター	平成16年度
三沢区	三沢区地域サポートセンター	平成18年度
今井区	今井区地域支援センター	平成18年度
花岡区	花岡区地域サポートセンター	平成18年度
岡谷区	岡谷区地域サポートセンター	平成19年度
間下区	間下区地域福祉活動支援センター	平成19年度
小尾口区	小尾口区地域サポートセンター	平成20年度
新屋敷区	新屋敷区地域サポートセンター	平成21年度
下浜区	下浜区地域サポートセンター	平成23年度
鮎沢区	鮎沢区地域サポートセンター	平成23年度
中村区	中村区地域サポートセンター	平成24年度
新倉区	新倉区地域サポートセンター	平成24年度
橋原区	橋原区地域サポートセンター	平成24年度
横川区	横川区地域サポートセンター	平成25年度
中屋区	ふれあい中屋活動センター	平成26年度
小坂区	小坂区サポートセンター	平成26年度
上浜区	上浜区地域サポートセンター	平成29年度
小口区	ふれあい小口活動センター	平成29年度

市内全地区に地域サポートセンターが設置された。この時にあたり、区長、地区社協会長に参加いただき、地域のつながり、地域の支え合いの大切さについての学習会を開催し、今後の活動充実につなげる機会となった。

② 各種団体への助成

基本目標 2 福祉サービスの利用を促進する

(1) 情報提供の充実

- ① 社協だより「ゆめ」の発行（年12回 全戸配布/再掲）
- ② ホームページ、フェイスブックによる情報掲載
新たにフェイスブックを利用し、情報発信の強化を図った。
- ③ 地区社協だよりの発行（再掲）
- ④ 新聞等報道機関の協力（再掲）
- ⑤ 福祉教材の貸出（再掲）

(2) サービスの提供

① 日常生活自立支援事業の推進（県社協受託事業）

相談件数	認知症高齢者 1,653件	知的障害者 973件	精神障害者 1,761件	合計 4,387件	
本年度契約件数	7名	本年度解約件数	24名	本年度実利用者数	84名
内(生活保護)	0名	内(生活保護)	1名	内(生活保護)	16名
内(下諏訪町)	0名	内(下諏訪町)	20名	内(下諏訪町)	2名
事業開始からの契約件数	264名	事業開始からの解約件数	180名		
専門員の訪問調査回数	延べ 63回（対象者 40名）				
生活支援員等の利用援助回数	延べ1,653回（対象者 100名）				

本年度より管内下諏訪町社協が県社協指定のモデル社協となり、独自での事業運営に移ったため、下諏訪町在住の利用者について、契約の移行を進めた。

成年後見人等が選任され、解約もしくは後見人との再契約を行ったケースが複数あった。また、数年以内に成年後見制度の利用が必要となる可能性のあるケースが多くなってきているため、成年後見制度へのスムーズな移行が課題である。

② 金銭管理、財産保全サービス事業の推進（市社協単独事業）

契約件数	解約件数	実利用者数
1名	3名	10名

③ 地区福祉ニーズ対応事業（福祉推進員設置事業/再掲）

(3) 福祉の相談窓口の充実

① 福祉総合相談

② 心配ごと相談事業

定例相談日数	243日	(毎週 月～金曜日)		8:30～17:15													
相談員	社協職員																
利用者数	16名	(男性5名・女性15名)															
取扱件数	27件																
相談事項	1 生	2 年	3 職 業 ・ 生 業	4 住 宅	5 家 族	6 結 婚	7 離 婚	8 医 療	9 精 神 衛 生	10 人 権 ・ 法 律	11 財 産	12 事 故	13 教 育 ・ 青 少 年	14 福 祉	15 苦 情	16 そ の 他	合 計
取扱件数	0	0	0	0	8	0	0	0	1	0	1	0	0	2	1	14	27
処理 状況	解決				4									2	1	2	9
	再来				2												2
	民生委員 他機関				1											12	13
	その他				1				1		1						3

③ ふれあいおしゃべり電話 月曜～金曜日 8:30～17:15

④ 法律相談

本年度2回の開催を予定したが、岡谷市で行う法律相談と連携を図り、開催日の調整を行ったが、開催に至らなかった。金銭管理など緊急の個別相談の対応などの方法に切り替えていきたい。

⑤ 結婚相談事業

99日開所		毎週火曜日、第1・3土曜日、第2・4木曜日(夜間相談日)				前年比
平均相談数		火曜日	木曜日	土曜日	1日あたり	
内	男性	0.4	1.0	1.0	0.7	前年同
	女性	0.4	0.7	0.7	0.5	前年同
訳	親族	0.3	0.1	0.3	0.2	前年同
	合計	1.1	1.8	2.0	1.5	0.1名増
相談者数 (来所者)		男性(本人)		71名	計 147名	9名増
		女性(本人)		53名		
		親・親族等		23名		
電話対応		472件				
登録者数(3/31現在)		男性		41名	計 67名	1名減
		女性		26名		
お見合い件数		16件	カップル成立		3組	1組増

積極的にお見合いを進めており、お見合い件数は増加している、お見合いにより現在長期に付き合っているカップルが2組あるため見守っているところである。また登録者同士では無いものの、登録者で結婚された方が2名いらっしゃいました。

⑥ ながの結婚マッチングシステム

システム登録者数 (3/31現在)	男性	3名	マッチング依 頼件数	26件	システムによるお 見合い件数	2件
	女性	3名				

女性登録者に対し多くのマッチング依頼が来ているものの、なかなかお見合いにまで至っていない。また現在の登録者が他県や他市町村の方が多くマッチング依頼も他市町村の方のため事業自体についての検討も必要である。

⑦ ハートリーブ事業

開催日	場所・内容	参加者	カップル成立
平成29年7月8日(土)	鳥かつ 25歳～40歳 合コン形式	男性 12名	5組
		女性 12名	
平成29年11月25日(土)	おかやがぶ飲みワイン食堂EiEioh 25歳～45歳対象 合コン形式	男性 5名	4組
		女性 5名	
平成30年2月17日(土)	スポーツカフェ イレブン 25歳～35歳対象 合コン形式	男性 7名	1組
		女性 7名	

飲み会形式のパーティーが好評のため今年度も企画した。第1回目では5組のカップルが成立。第2回目では5組中4組が成立。第3回目は1組の成立だった。年間を通じ、参加者の確保や会場の盛り上がりなどが大変うまくいった印象だが、依然として女性参加者の確保は、大きな課題であり、更に工夫が必要であると感じている。

⑧ ボランティア総合相談

(4) サービスの質の向上

- ① 苦情解決の対応
- ② 第三者委員の設置
- ③ 介護事業所別の相談・苦情対応
- ④ 職員の資質向上のための研修会等への参加

基本目標 3 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるようにする

(1) 高齢者・障がい者在宅サービスの充実

① 生きがいデイサービス事業（市受託事業）

援助員90名(内地区活動援助員86名：今井区12名・間下区16名・岡谷区12名・小尾口区1名・西堀区9名・駒沢区4名・橋原区9名・中村区5名・小口区1名・三沢区2名・東堀区7名・小井川区8名)

名称	会場	参加人員	グループ数	延回数
いきいきデイいまい	今井区公会所 今井区民センター 下今井公会所	41名(男7名・女34名)	4グループ	96回
いきいきデイ間下	間下区民センター	43名(男0名・女43名)	4グループ	113回
いきいきデイおかや	岡谷区公会所	36名(男1名・女35名)	3グループ	67回
すこやかデイ下浜	下浜区民センター	5名(男0名・女5名)	1グループ	24回
いきいきデイ小尾口	小尾口区公民館	7名(男0名・女7名)	1グループ	24回
いきいきデイ上浜	上浜公民館	12名(男0名・女12名)	2グループ	48回
いきいきデイあらやしき	新屋敷会館	14名(男4名・女10名)	2グループ	48回
いきいきデイおぐち	小口区民センター	18名(男0名・女18名)	2グループ	48回
いきいきデイ小井川	小井川区民会館	55名(男1名・女54名)	4グループ	120回
いきいきデイ西堀	西堀公会所	202名(男58名・女144名)	14グループ	429回
ふれあいプラザみなと	ふれあいプラザみなと	15名(男0名・女15名)	2グループ	48回
いきいきデイつるみね	三沢区コミュニティ施設	15名(男0名・女15名)	2グループ	48回
いきいきデイ新倉	新倉区公会所 夏明公会所	25名(男3名・女22名)	3グループ	72回
いきいきデイ駒沢	駒沢区公民館 荻山会館	21名(男0名・女21名)	2グループ	48回
いきいきデイ鮎沢	鮎沢区公民館	12名(男2名・女10名)	1グループ	22回
いきいきデイ橋原	橋原公会所	13名(男3名・女10名)	2グループ	48回
いきいきデイしばみや	柴宮館 東堀コミュニティ会館	64名(男33名・女31名)	5グループ	113回
いきいきデイ中村	中村区民センター	27名(男0名・女27名)	3グループ	71回
いきいきデイ横川	横川公会堂	25名(男0名・女25名)	3グループ	72回

6回シリーズでボランティアリーダー養成研修を行い、受講された方の中から、4名の方が、新たに地区活動援助員となった。また、市社協の援助員が担っている地区の中から、地区活動援助員をやってみたいという動きがあり、区長さん、ボランティアさんと連携し、地区活動援助員への切り替えに向けて支援を行った。

② 有償在宅福祉サービス（家事援助・保育）事業

家事援助サービス	登録協力会員	登録利用会員	対応延回数	総時間
	14名	28名	321回	367.5時間

保育サービス	託児数	対応件数	延べ協力会員数	延べ活動時間
	就学前 2,214名	231件	878名	1,763時間
	就学児 15名			

会員相互の助けあいの仕組みとして、家事援助(買い物、掃除等)、保育を行った。

③ 岡谷市いきいき生活支援サービス事業（ホームヘルプサービス/市受託事業）

ア 介護予防生活支援サービス（未認定対象）

イ 重症化予防生活支援サービス（要支援認定以上対象）

④ 安否確認（目くばり・気くばり）事業

⑤ ふれあいの仲間づくり事業

配食等宅配サービス事業 今井・間下・岡谷・下浜・小尾口・新屋敷・小口・西堀・小坂・花岡・三沢・新倉・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・中村・横川
会食会・料理教室 今井・間下・岡谷・下浜・上浜・新屋敷・小口・小井川・西堀・小坂・三沢・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・中村・横川
デイケアサービス事業 新屋敷・小口・小井川
ふれあいの集い・青少年ふれあい育成事業 今井・岡谷・上浜・小口・西堀・小坂・橋原

⑥ ふれあいいきいきサロン事業

実施グループ数	実施延べ回数	参加延べ人数
13グループ	416回	5,956名

より身近な小地域における集いの場として、ふれあいいきいきサロンを展開していくにあたり、要綱の見直し、整備を行い、3月9日に登録団体の代表者に参加していただき説明会を行った。

⑦ 友愛訪問

今井・岡谷・下浜・小尾口・上浜・西堀・新倉・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・横川

⑧ 家庭介護者の集い事業

平成29年10月19日(木)	別所温泉北向観音・松茸料理と温泉の旅	参加者 6名(男性2名・女性4名)
----------------	--------------------	-------------------

参加人数の減少、また他事業所における介護者支援事業を鑑み、第2回目については、実施を見合わせた。

⑨ 車いす移送車レンタカー事業 2台使用 利用者 17名 101回

⑩ 車いす貸出し事業(介護保険適用以外) 個人29名 29台・3団体 17台

⑪ 福祉機器リサイクル事業 受付3件
ポータブルトイレ・シャワーチェア・浴室用手すり

(2) 介護保険事業・障がい福祉サービス事業の充実

① 居宅介護支援事業所(介護支援専門員による支援計画策定等)

介護区分	延べ人数	月平均	前年比(月平均)
要介護1・2	1,382名	115名	13名増
要介護3・4・5	537名	45名	7名減
合計	1,919名	160名	6名増
介護支援専門員1人当たり(常勤換算5.5名)		29名	1名増
新規契約者数(29年度中)		52名	契約解除者数 34名

② 介護予防支援業務(市受託事業)

介護区分	延べ人数	月平均	前年比(月平均)
要支援1・2	357名	29名	17名減
介護支援専門員1人当たり(常勤換算5.5名)		5名	3名減

③ 総合事業支援業務(市受託事業)

介護区分	延べ人数	月平均	前年比(月平均)
要支援1・2	124名	10名	10名増
介護支援専門員1人当たり(常勤換算5.5名)		2名	2名増
新規利用者数(29年度中)		25名	※介護予防より移行

総合事業が新たに創設され、介護予防からケースが移行しているが、それによる利用者の増減はほとんど無かったものの、年度末において、ケアマネージャー1名の退職に伴うケースの他事業所への移行があったため、6名利用者の減少となった。

④ 特定相談支援事業(障がい福祉サービス等利用計画策定等)

利用者数	前年比	計画作成数	前年比	継続支援回数	前年比
97名	29名増	74件	19件増	196件	63件増

⑤ 障害児相談支援事業(障がい福祉サービス等利用計画策定等)

利用者数	前年比	計画作成数	前年比	継続支援回数	前年比
16名	5名増	13件	4件増	29件	13件増

新ケースも順調に増え、収入も安定してきている。新規利用者も見込める状態ではあるものの、現在の職員配置では限界に近いところまできているため、今後の事業所の体制についても検討が必要である。

⑥ 訪問介護事業所（ホームヘルプサービス）

ア 訪問介護事業

利用者数	延べ人数	月平均		
要介護1～5	508名	42名		
新規利用者数(29年度中)		14名		
サービス区分	延べ派遣回数	月平均	延べ派遣時間	前年比(時間)
身体介護	2,942回	245回	2,138時間	442時間 減
身体・生活	2,401回	200回	3,347時間	271時間 減
生活援助	3,920回	327回	3,591時間	824時間 増
乗降介助	76回	6回	25時間	18時間 減
自費利用	179回	15回	257時間	83時間 減
合計	9,518回	793回	9,358時間	10時間 増

イ 介護予防訪問介護事業

利用者数	延べ人数	月平均		
	122名	10名		
新規利用者数(29年度中)		0名		
サービス区分	延べ回数	月平均	延べ派遣時間	前年比(時間)
介護予防Ⅰ	298回	25回	286時間	466時間 減
介護予防Ⅱ	381回	32回	357時間	333時間 減
介護予防Ⅲ	0回	0回	0時間	146時間 減
合計	679回	57回	643時間	945時間 減

ウ 総合事業（新規事業）

利用者数	延べ人数	月平均		
	163名	13名		
新規利用者数(29年度中)		5名		
サービス区分	延べ回数	月平均	延べ派遣時間	
介護予防Ⅰ	372回	31回	352時間	
介護予防Ⅱ	345回	28回	340時間	
介護予防Ⅲ	196回	16回	208時間	
合計	913回	75回	900時間	

エ 障がい福祉サービス事業

利用者数	延べ人数	月平均	前年比	※移動支援含む
	608名	51名	152名	
新規利用者数(29年度中)		9名	3名	
自立支援給付	延べ回数	月平均	派遣時間	前年比(時間)
重度訪問介護	97回	8回	217時間	27時間 減
重度訪問介護(移動介護のみ)	35回	3回	67時間	8時間 増
身体介護	643回	54回	778時間	137時間 増
家事援助	1,735回	145回	1,708時間	378時間 増
通院介助(身体介護あり)	22回	2回	22時間	22時間 増
通院介助(身体介護なし)	26回	2回	52時間	37時間 減
同行援護(身体介護伴う)	3回	0.3回	8時間	3時間 増
同行援護(身体介護伴わず)	294回	25回	530時間	205時間 減
移動支援(身体介護伴う)	123回	10回	174時間	62時間 減
移動支援(身体介護伴わず)	235回	20回	273時間	
自費利用	427回	21回	13時間	13時間 増
合計	3,640回	290回	3,842時間	892時間 増

介護保険では利用者、サービス提供量ともに昨年と比べて大きな変動はなかった。介護予防では、新たに総合事業が開始され総合事業のサービスに移行しているが相対的に大きな変動はなかった。障害サービスでは、新規利用者、サービス提供量共に増えてきている。全体として利用を希望する人数は増えてきているが、新たな人材の確保が難しくなっており、依然として体制の整備が課題である。

⑦ 就労継続支援B型事業所「ひだまり作業所」

開所日時	週5日(月～金) 9:00～15:00
開所日数	244日
延べ年間通所者数	3,233名 (見学・お試し利用人数等除く)
1日平均通所者数	13.2名 (昨年に対し2.4名増)
年間在籍通所者実数	23名(男性 14名 女性 9名)
市町村別内訳	岡谷市 17名 下諏訪町 4名 諏訪 1名 茅野市 1名
29年度新規通所者	8名(男性 4名 女性4名)
29年度退所者	4名(男性 2名 女性2名)
29年度通所希望見学者	20名 / 延べ体験日数 60日
29年度開催行事	カラオケ大会・いちご狩り・防災訓練(春・秋)・焼肉会 ボウリング大会・ランチバイキング・チラシ寿司会等

利用者は増加しており、一日の利用者が定員一杯の20名近くになる日もある。また利用希望者も増えてきているため、新たな仕事の確保や作業スペースなどについて検討していかなければならない。

(3) 子育て支援サービスの充実

① 産後ママサポート事業 (市受託事業)

登録訪問員10名

② 育児ファミリーサポートセンター事業 (保育/市受託事業)

提供会員	30名	利用会員	348名
件数	106件	内容	保護者の病気時、研修、習い事、仕事等
時間	248時間		

提供会員を対象とした研修会を開催し(6回)、サービスの向上を図った。

③ ひとり親家庭福祉事業への助成と援護活動

④ 児童遊園地の新設、遊具等の整備助成事業

⑤ 親子福祉体験事業 (再掲)

(4) 安全・安心な市民生活をサポートするサービスの充実

① 友愛訪問事業 (再掲)

② 戦没者慰霊事業 遺族会へ補助 16万円

③ 罹災者に対する見舞事業

市社協見舞金	全焼3件 60,000円 死者2名 40,000円	半焼3件 30,000円 負傷者1名 2,000円	半壊1件 10,000円
県共募見舞金	全焼3件 30,000円 死者2名 20,000円	半壊3件 30,000円	半焼1件 10,000円

④ 災害ボランティアの事前登録

⑤ 災害ボランティアコーディネーターの養成

防災とボランティアパークにおいてボランティアコーナー設置と炊き出し

⑥ 災害時における相互応援協定による体制整備

県内社会福祉協議会、諏訪ブロック社会福祉協議会、諏訪圏青年会議所
新たに岩手県山田町社会福祉協議会と協定締結を行った。

⑦ ボランティア及び災害活動者遺児育英資金 (再掲)

⑧ 生活困窮者サポート事業

ア 貸付に関する相談

相談件数(本人来所、窓口対応)	24件
-----------------	-----

貸付に関する相談を通して、家計相談や貸付金等の事業も視野に入れ、関係機関と連携し、相談者の生活の自立を支援する活動に取り組んだ。

イ 食品等の払い出し

お米の支給	3件 12kg
-------	---------

貸付相談者、日常生活自立支援事業利用者、生活困窮世帯への緊急的支援として、貸付と併用して、お米を支給した。

⑨ 助け合い資金貸付事業（市社協単独事業）

貸付人員	13名	14件	296,000円
償還取扱件数	19名	46件	288,980円
償還未納金額	26名		621,500円

生活保護受給のつなぎ資金を中心に貸付を行った。滞納者に継続して連絡を取り、相談する中で、小額ずつでも償還するよう促し、滞納額を減らすことができた。

⑩ 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

総合支援資金			
生活支援費	1名	1件	80,000円
一時生活再建費	1名	1件	100,000円
福祉資金			
緊急小口資金	2名	2件	200,000円

貸付を行うだけでは解決しない複数の生活課題を抱えているケースが多くなってきている。相談を受ける際、丁寧な聞き取りを行い、生活保護、就労支援担当、生活就労支援センター（まいさぼ岡谷市）と連携し、自立につながるよう努めた。

（5）健康の保持増進

- ① 高齢者の社会参加促進事業（再掲）
- ② 生きがいデイサービス事業（再掲）
- ③ ふれあいの仲間づくり事業（再掲）
- ④ ふれあいいきいきサロン事業（再掲）

基本目標 4 社会福祉協議会の基盤を強化する

（1）組織の強化

- ① 新たな事業展開についての調査研究
行政、関係機関等と連携を図る中で、将来を見据えた事業展開について研究した。
特に権利擁護事業（成年後見制度支援）については、日常生活自立支援事業を含む、切れ目のない権利擁護の仕組み・体制づくりに向けて、行政と協議を重ねた。
- ② 職員体制の強化
役員も新体制となり、ガバナンスの強化を図る中、各部門、事業間で連携し、一体的に事業を推進する体制づくりを進めた。
- ③ 社会福祉協議会職員の研修
それぞれの業務に関する研修等への参加と、全体研修を通し、個々のスキルアップを図った。
- ④ 地域福祉活動計画の点検・評価
事業の内容、要綱等の見直しを行い、次年度の事業展開につなげた。
- ⑤ ホームページ、フェイスブック等による情報発信（再掲）
- ⑥ 会員の増強
岡谷市社協の役割、会費の使い道等、市民に充分理解されるよう努めた。
- ⑦ 諏訪ブロック内各社協との連携強化

（2）財源の強化

① 岡谷市社会福祉協議会会費

会費収納説明会の開催	平成29年6月20日(火)	大会議室	区長・地区社協会長等
収納状況			
一般会費(1世帯 1,000円)	9,184件	9,163,500円(前年度 9,287件	9,269,700円)
賛助会費(1口2,000円以上)	4,280件	8,918,170円(前年度 4,461件	9,293,500円)
合計	13,464件	18,081,670円(前年度 13,748件	18,563,200円)

② 赤い羽根共同募金運動

募金方法	件数	実績額(円)	備考
戸別募金	12,678	12,762,315	
街頭募金	2	146,307	
法人募金	638	2,059,300	
学校募金	8	51,975	小学校 5・中学校 2・高校 1
職域募金	6	945,946	
イベント募金	6	133,762	
個人募金	3	1,566	
その他の募金	8	186,075	
合計	13,349	16,287,246	前年度13,664件 17,074,358円

③ 岡谷市社会福祉協議会基金及び積立金

福祉基金	251,713,527円	準備基金	9,009,739円
ボランティア及び災害活動者遺児育英資金			9,479,664円
経営安定化積立金			39,332,713円

④ 物品寄付の受付

60件

使用済み切手	47件	車いす	1件
介護用品	2件	カメラ一式	1件
タオル類	2件	ヘルストロン	1件
ウエス用古布	2件	お菓子	1件
衣類	2件	絵本	1件
カレンダー	2件	こたつ	1件
ぬいぐるみ	2件	手芸用品	1件

ご寄付いただいた物品は、必要とする施設や機関、利用者等へ払出し、それぞれに活用した。